

2021年度 活動報告・2022年度 活動計画

放射線・線量委員会

2022年6月3日

放射線・線量委員会 委員長
長束 澄也

目次

1. 委員会の概要

2. 2021年度 活動報告

2.1. 日本消化器がん検診学会

「胃 X 線検診における D R L 策定委員会」

2.2. J-RIME(医療被ばく研究情報ネットワーク)総会

2.3. 第50回日本放射線技術学会(JSRT)秋季学術大会

JIRAワークショップ

3. 2022年度 活動計画

1. 委員会の概要

～役割と基本方針～

- ・ 医療機器及びその関連機器の放射線・線量に関する懸案事項に対し、
機器による放射線・線量管理の在り方や、
線量の低減などの線量に関する事項の検討を行い、
各懸案事項に対する課題を明確化する。
- ・ 課題への対応方針の決定及び決定に沿った
当工業会関係部会・委員会、ならびに国内外の関係団体
(日本放射線技術学会、医療被ばく研究情報ネットワーク、
DITTA/MITA、IEC/DICOM、など)との連携を図り、
ステークホルダー(行政、会員企業、使用者、一般等)への
発信・対話を充実させていく。

2.

2021年度 活動報告

2.1. 日本消化器がん検診学会 「胃X線検診におけるDRL策定委員会」

(本委員会：2回開催 (2021年11月、2022年3月)、測定分科会：1回開催 (2022年2月))

- ・ 医師や技師を中心に15名で構成される委員会に、委員3名がオブザーバとして参加し、胃X線検査による被ばく線量の調査プロトコルの検討において、機器側の制約などを中心に、意見交換を行った。
- ・ 2022年度検診から調査が開始される予定で、継続して対応する。

2.2. J-RIME(医療被ばく研究情報ネットワーク)総会 (2021年7月開催)

- ・放射線防護に関わる情報、X線診断装置の線量低減に寄与する機能および線量管理システムに関係する国内外規格の動向を中心に、以下に関する報告を行った。

- a) IEC/JIS
- b) NEMA
- c) DICOM/IHE

2.3. 第50回日本放射線技術学会(JSRT)秋季学術大会

JIRAワークショップ (2021年10月開催)

- ・「医療現場における線量情報管理の現状～メーカー側およびユーザ側の取り組み～」というテーマで、メーカー・ユーザ双方からの最新情報を提供した上で、今後取り組むべき方向性に関して議論を行った。

OJIRAからの発表：

1. DICOM RDSR 構造概要と被ばく推定のためのタグの説明
2. RDSRなどを使用した照射線量情報の収集方法と被ばく線量について

OJSRTからの発表：

1. 診療現場における線量管理システムを構築するための
モダリティ側と線量管理システム側の課題と要望
2. オーダ情報 (JJ1017) を利用した放射線被ばく線量情報管理システムの構築と運用

3. 2022年度活動計画

- (1) 社会の変化に先駆けた
世界をリードする医療イノベーションの実現
- (2) 革新的なデジタル技術の活用による、
医療の質向上と医療機器産業拡大への貢献
- (3) 日本の優れた医療、医療システムの
世界への提供と貢献
- (4) 線量最適化活動の推進
- (5) JIRA 基盤活動の充実に向けた活動

ご視聴
ありがとう
ございました

JIRA

一般社団法人 日本画像医療システム工業会
Japan Medical Imaging and Radiological Systems Industries Association